

【第1号議案】

令和4年度事業報告及び事業収支決算報告  
(令和4年4月～令和5年3月)

全国イノベーション推進機関ネットワーク

## I. 令和4年度事業報告

引き続き、「今後の全国イノベーション推進機関ネットワークのあり方について」（令和2年9月29日ワーキンググループ最終報告）に基づく新たな事業展開に努め、地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード）の着実な実施と更なる発展に向けた取組の強化、情報提供・情報発信の拡大・強化、最終報告において新たに取り組むべきとされた各種事業（国との対話の場の設定、人材育成等）の推進を行った。

なお引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る感染防止の観点から、必要な対策を取りながら事業を実施した。

### 1. イノベーションネットアワード等、イノベーション活動活性化事業

#### (1) イノベーションネットアワード事業の実施

##### 1) 第11回地域産業支援プログラム表彰事業(イノベーションネットアワード2022)

前年度令和4年3月9日に実施した全国イノベーション推進機関堀場雅夫賞の選考委員会及び令和4年4月12日に開催した地域産業支援プログラムの審査委員会の結果を踏まえ、令和4年6月14日に新型コロナ感染拡大防止に十分留意したうえで、表彰式を開催した。

イノベーションネットアワード2022受賞者一覧

受賞名	機関名	事業名
経済産業大臣賞	公益財団法人川崎市産業振興財団	シックケア社会からスマートライフケア社会への変革を目指すCOINSの『体内病院』プロジェクト
文部科学大臣賞	国立大学法人熊本大学生命資源研究・支援センター	世界のゲノム科学を支援するゲノム編集動物に関する基盤技術開発の地域連携
農林水産大臣賞	地方独立行政法人青森県産業技術センター	生産指導DXによる産地におけるブランド米の生産支援
全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞	やさいバス株式会社	地域とつくる地産地消を推進する青果流通システム
一般財団法人日本立地センター理事長賞	学校法人沖縄科学技術大学院大学学園	OISTスタートアップアクセラレータープログラム ～OISTを核とした沖縄県におけるイノベーションエコシステムの実現～
優秀賞	国立大学法人信州大学	信州100年企業創出プログラム
	大阪信用金庫	強固なネットワークを活用した伴走型ソリューション
全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞	岡田 基幸氏 (一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター 専務理事・センター長)	

##### 2) 第12回地域産業支援プログラム表彰事業(イノベーションネットアワード2023)

令和4年10月12日から募集を開始し、プログラム表彰27件、個人表彰4件の応募を得た。令和5年3月16日に開催した全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞・選考委員会にて1名の受賞者を選定、また、令和5年4月18日に開催予定の地域産業支援プログラム表彰・審査委員会にエントリーする9件のプログラムを選定した。

#### (2) イノベーションネットアワード受賞事例の普及

受賞事例を広く普及させ、地域産業支援等に関わる方々に参考としてもらえるよう、イノベーションネットアワード2022の受賞事例を加えてホームページに掲載した。

また、地域イノベーション・地域産業の活性化支援に携わっている方々向けに、受賞 77 例を政策テーマ別に分類したうえで、ウォンツ別分類を行い「何をしたいか」「何が課題か」といった切り口に対して解決策を検索できるようにインデックスを付け、2022 年 11 月 28 日にイノベーションネットのホームページで公開した。

【 <https://www.innovation-network.jp/recent/2022102600016/> 】

「イノベーションネットアワード受賞プログラムにみる成功の秘訣 2022年度版」ウォンツ別分類一覧

公開日 2022年11月28日

イノベーションネットアワードの趣旨と活用方策について取りまとめた77の受賞事例  
「イノベーションネットアワード受賞プログラムにみる成功の秘訣 2022年度版」

ウォンツ分類

- ▶ [新しい農産物のブランド化を進めたい](#) ▶ [医工連携による新産業を振興したい](#) ▶ [海外展開を支援したい](#)
- ▶ [起業人材を育成したい](#) ▶ [経営人材、後継者を育成したい](#) ▶ [後継者育成をしたい](#) ▶ [公設試を活用したい](#)
- ▶ [産学官連携で新しい産業を創出したい](#) ▶ [商店街を活性化したい](#) ▶ [スタートアップ・新規創業企業を育てたい](#)
- ▶ [専門人材を育成したい](#) ▶ [地域の企業の経営力を強化したい](#) ▶ [地域の産業集積や資源を活かした産業振興をしたい](#)
- ▶ [地域の資源を活用した医薬品・ヘルスケア・デュティー産業を創出したい](#) ▶ [地域のDX化による地域振興をしたい](#)
- ▶ [地域の農林水産資源を活用した産業振興をしたい](#) ▶ [地域の臨床データを活用した新産業を創出したい](#)
- ▶ [デザイン・知財を活用したい](#) ▶ [テックベンチャーを育てたい](#) ▶ [都市型農業を育てたい](#)
- ▶ [農業を核とした産業振興をしたい](#) ▶ [農林水産業の生産性を向上させたい](#) ▶ [農林水産・食品分野の中核人材を育てたい](#)
- ▶ [販路開拓、マッチングをしたい（製造業振興）](#) ▶ [販路開拓・マッチングをしたい（農林水産・食品産業振興）](#)
- ▶ [フードビジネスを振興したい](#) ▶ [モノづくり人材を育成したい](#) ▶ [留学生を活用したい](#)

政策テーマ	ウォンツ	受賞事業名
農業を核とした産業振興をしたい		<a href="#">地域のものづくりを柱とする「とかち型ビジネス支援」プログラム</a>
		<a href="#">食と農林漁業を柱とした地域産業政策『フードバレーとかち』</a>
		<a href="#">四国経済を牽引する「総合6次産業都市」の実現～農業界と経済界の連携および産学官金連携によって推進する新産業創出イノベーション～</a>
新しい農産物のブランド化を進めたい		<a href="#">『さいたまヨーロッパ野菜研究会』生産者とシェフ、地域機関の連携による、新たな地域ブランド創造支援</a>
都市型農業を育てたい		<a href="#">『さいたまヨーロッパ野菜研究会』生産者とシェフ、地域機関の連携による、新たな地域ブランド創造支援</a>
農林水産・食品分野の中核人材を育てたい		<a href="#">「能登里山里海マイスター」育成プログラム</a>
		<a href="#">土佐フードビジネスクリエイター人材創出事業</a>
		<a href="#">ワイン人材生涯養成拠点</a>

## 2. ネットワークの活用・強化事業

### (1) 情報提供・情報発信の強化

ホームページでの情報発信を適宜行ったほか、メールマガジン（イノベネット TIMES）を基本的に隔週で配信した。また、日本立地センターが発行する機関誌「産業立地」において地域イノベーションに係る内容を「イノベーションネット通信（2022年7月号：アワード2022受賞プログラム・受賞者とその取り組み、2023年1月号：イノベーションネットアワード受賞プログラムにみる成功の秘訣・活用術）」として掲載、正会員・学術機関会員等へ送付した。

### (2) 地域の諸課題・要望等を踏まえた国等との政策対話等の実施

地域の課題やニーズを政策に反映させていくため、三省（文部科学省、農林水産省、経

済産業省)等、国・関係機関等から施策紹介等を受けながら、地域の諸課題や要望を国等に伝え、意見・情報交換する場をオンラインで設けた。

◆政策対話セミナー

1) 第3回(令和4年6月29日オンライン開催)

テーマ:「デジタル田園都市国家構想基本方針」

講師:渡邊 政嘉氏(前内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局内閣審議官)

2) 第4回(令和4年10月4日オンライン開催)

テーマ:「令和5年度関係府省の予算・概算要求」

講師:経済産業省・文部科学省・農林水産省

3) 第5回(令和5年2月1日オンライン開催)

テーマ:「デジタル田園都市国家構想総合戦略」

講師:佐脇 紀代志氏(内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局審議官)

(3) 人材養成研修の実施

産業支援機関では、プロパー人材の強化が共通の課題として位置づけられていることから、中小機構と連携して、オンライン形式での人材養成セミナーを2回実施した。

◆第4回(令和4年11月8日オンライン開催)

テーマ:「地域中小企業がSDGsに取り組むことの意義」

講師:加藤 弘之樹氏(中小機構・中小企業アドバイザー)

◆第5回(令和5年2月22日オンライン開催)

テーマ:「地域中小企業がSDGsに取り組むための支援ツール」

講師:望月 敬氏・北野 研人氏(中小機構 中小企業SDGs推進本部)

(4) ネットワークの拡大

全国大の有用なネットワークの充実を図るため、引き続き地域の産業支援機関、大学、金融機関、公設試験研究機関(公設試)等に対して入会の働きかけを行い、オブザーバー会員1機関(愛媛県西条市)の新規入会を得た。

3. その他協力事業

会員等が主催する新事業支援を目的とする事業について、その要請に基づき後援し、開催の周知に協力した。

内容	主催機関	対象催事
後援	独立行政法人 中小企業基盤整備機構 (幹事機関)	JVA2022 (Japan Venture Awards 2022) 革新的かつ潜在成長力の高い事業や、社会的課題の解決に資する事業を行う、志の高いベンチャー企業の経営者を称える表彰制度。 募集期間:令和4年7月12日~8月25日 表彰式:令和4年12月17日(会場:虎ノ門ヒルズフォーラム)

<p>後援</p>	<p>西武信用金庫</p>	<p><b>第 22 回ビジネスフェア ～持続可能な未来へ～</b>          首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県）地域中小企業に技術・製品・商品に関する情報発信の場と産学官連携実現の機会を提供するための企業展示・マッチング会。          開催期日：令和 4 年 11 月 15 日          会場：渋谷ヒカリエ ヒカリエホール</p>
<p>後援</p>	<p>公益財団法人京都高度技術研究所</p>	<p><b>京都市ベンチャー企業目利き委員会</b>  <b>A ランク認定企業ビジネスマッチング会</b>          京都市ベンチャー企業目利き委員会の A ランク認定企業と全国の企業をつなぎ、新たなビジネス創出を目指したビジネスマッチング会          開催期日：令和 4 年 11 月 30 日（オンライン開催）</p>

## Ⅱ. 事業収支決算報告

令和4年度事業収支決算（令和4年4月1日～令和5年3月31日）は、以下のとおり。

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	内 訳	差 異
収入の部				
会費収入	3,810,000	3,710,000	正会員 @50,000×2 口×34 機関 3,400,000 @50,000×1 口×2 機関 100,000 学術機関会員 @15,000×14 機関 210,000	▲100,000
収入合計	3,810,000	3,710,000		▲100,000
支出の部				
事業経費	3,429,000	3,356,208	イノベーションネットアワード等イ ノベーション活動活性化事業 2,265,888 ネットワークの活用・強化事業 1,090,320	▲72,792
事務局経費	381,000	353,792	353,792	▲27,208
支出合計	3,810,000	3,710,000		▲100,000
収支差額	0	0		0